



【2009年4月2日香港にて発表の資料対訳】  
プレス・リリース

報道機関各位

## HSBCアジア5カ国対抗ラグビー選手権の2年目がキックオフ

香港上海銀行のサンディ・フロックハート CEO、アジア・ラグビー・フットボール協会 (ARFU) のチェイワン・テ会長、元イングランド代表のトライ王、ローリー・アンダーウッドの各氏がアジア・ラグビーの発展を祝う

[香港：2009年4月2日（現地時間）発] HSBCとアジア・ラグビー・フットボール協会 (ARFU) は2日、画期的な新トーナメントの「HSBCアジア5ヶ国対抗シリーズ (HSBC A5N)」が2年目に入ったことを発表しました。香港上海銀行のサンディ・フロックハート CEO、ARFUのチェイワン・テ会長、元イングランド代表のトライ数記録保持者であるローリー・アンダーウッドの各氏が、香港を代表する建物でもあるHSBCメイン・ビルにおいて報道機関向けに記者会見を開き、シーズン開幕を宣言しました。

元ジェット機のパイロットでトライ王となったアンダーウッド氏は、イングランド代表として85試合に出場し（1984～1996年）、記録的な49回のトライをあげるとともに、ブリティッシュ&アイリッシュ・ライオンズに参加し6試合に出場しました。彼は14年間にわたり「レスター・タイガース」でラグビー選手として第一級のプレーを披露し、ラグビー界への貢献により大英帝国勲位を授与されています。アンダーウッド氏は、ラグビーでの記録破りのキャリアと並んで、英国空軍のパイロットとして18年間の経験を有しています。英国系マレーシア人であり、スポーツ選手としてもパイロットとしても素晴らしいキャリアを持つアンダーウッド氏は、2年目を迎え益々成長を遂げているアジアのラグビートーナメントシリーズのための理想的なラグビー親善大使です。

香港上海銀行サンディ・フロックハート CEO コメント：

HSBCアジア5カ国対抗の2年目を迎えることができ、また、この大会がますます成長・発展し、アジアラグビーの普及が進んでることを大変嬉しく思っております。HSBCと参加協会は、HSBC A5Nを通じて、アジア全域で草の根のラグビー普及活動をさらに推進していきたいと思っております。

ラグビーというスポーツには、HSBCのグローバルなビジネス展開の重要な基本原則——リーダーシップ、品位、忍耐力、勇気——がよく表れています。また、HSBCはA5Nの他に、ブリティッシュ&アイリッシュ・ライオンズのメインスポンサーも務めており、ラグビー界のスポンサーとしての功績を伸ばしております。私達は、世界のラグビーにとって極めて重要な年となるであろう今年を楽しみにしております。」

アジアラグビーの普及拡大を示す象徴的なこととして、ARFUが2008年に26番目の国としてヨルダンを準加盟協会に加わりました。また、インドネシア・ラグビー・フットボール協会が国際ラグビー評議会 (IRB) の準加盟協会に、フィリピンとパキスタンがIRBの加盟協会に加わることが承認されました。



こうした発展を反映して、A5N シリーズは拡大を遂げ、「ディビジョン 3」のトーナメントが新たに、フィリピンのマニラで 7 月に開催されます。このディビジョン 3 のトーナメントには、フィリピン、グアム、インドネシア、イランの各国が参加します。これにより、HSBC A5N は 3 つの競技レベルから構成され、参加チームにはレベル間で昇格と降格の機会があります。3 つの競技レベルは「トップ 5」、「3 つのディビジョン」、「3 つの地域選手権」となっています。

2009 年の A5N の試合はアラブ首長国連邦からウズベキスタンに至るアジア各国で開催され、中にはその地域の有名な競技場で行われるものもあります。今年の会場には、歴史的に名高い近鉄花園ラグビー場（日本・大阪）、香港フットボール・クラブ（香港 10 選手権の本拠地）、ソンナム・スタジアム（韓国・ソウル、K リーグの競技場）、アルマトイ中央競技場（2010 年 W 杯予選「イングランド対カザフスタン」戦（6 月）の会場）、ラグビーワールドカップセブンズ 2009 の開催国ドバイで中東地域のラグビーの発展を示すモデル競技場「セブンズ」があります。

「トップ 5」の大会は今年も 5 週間にわたり「ホーム&アウェイの総当たり戦方式」で試合が行なわれ、前回の優勝国である日本、第 2 位の韓国、香港、カザフスタン、2009 年に昨年の「ディビジョン 1」優勝国として昇格したシンガポールの 5 ヶ国が参加します。試合は 4 月 25 日から 5 月 24 日にかけて 5 週連続で行なわれます。

HSBC A5N が IRB から公認されたことにより、今大会は「ラグビーワールドカップ」の地区予選も兼ねることになっています。今 2010 年の「トップ 5」参加チームがアジアの出場枠 1 をかけて争うことになるため、今年は「ディビジョン 1」の大会が、2011 年ラグビー W 杯の公式予選試合となります。また、「トップ 5」の試合も今年は、降格したチームが自動的にラグビー W 杯 2011 年ニュージーランド大会への出場権を得られなくなるため、ラグビー W 杯予選として扱われます。

昇格・降格ルールは「ディビジョン 2」にも適用されますが、新たに設置された「ディビジョン 3」については、2009 年は昇格のみが行われます。HSBC A5N の昇格・降格方式は世界のラグビートーナメントの中でもユニークなもので、アジアで発展を遂げている各協会に平等な権利をもたらし、ARFU 加盟国 26 カ国の最下位からトップまでのチームが競争性のあるシステムの中で戦う環境が実現されています。

ARFU はスポンサーである HSBC から支援を得ることにより、今年も、各週の「トップ 5」の試合や 1 時間のハイライト番組など、アジア全域で ESPN スター・スポーツを通じて大会の試合を放映する予定です。昨年は、「トップ 5」の試合がスター・スポーツ、ユーロスポーツ、ショータイム・ミドルイースト、スカイ・ニュージーランド、J スポーツ（日本）を通じて、世界各国の約 1 億 2,000 万世帯に放映されましたが、これはアジアのラグビー界がかつてないほど高い認知率を達成したことを意味しています。

本日の発表は、世界のラグビー界で最も成長著しいアジア地域におけるラグビーの長く名誉ある歴史に新たなページを加えるものです。ARFU のメンバー協会は過去 10 年間に二倍以上に増え、1998 年の 10 協会から今日では 26 協会に達しており、アジアは世界のラグビー界でも急成長を遂げている地域のひとつとなっています。



注記

### **HSBC グループ**

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国に本部を置いています。HSBC グループは世界で 1 億の顧客に対してサービスを提供しております。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる 86 の国と地域に 9,500 を超える拠点を擁し、2008 年 12 月末現在 2 兆 5,270 億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

### **アジア・ラグビー・フットボール協会 (ARFU)**

ARFU は、国際ラグビー評議会 (IRB) の公認を受けたアジアのラグビー運営機関です。1968 年に 8 協会の創設メンバーが参加して設立された ARFU は、現在、26 協会に増加しています。ARFU の目標は、「ラグビー・フットボールを健全な形で探求する中で、教育を通じてアジアの身体的レベルと精神的レベルを引き上げ、アジアの各国間の親善を促進すること」であり、これは創設以来変わっていません。また、ARFU は 7 人制ラグビーと 15 人制ラグビーの双方において、女子、男子、ユースなど、地域やアジア全域の選手権も支援しています。

以上